

2. 浮遊粒子状物質 (SPM)

平成12年度の浮遊粒子状物質の有効測定局は、1,832局（一般局：1,531局、自排局：301局）であった。

長期的評価による環境基準達成局は、一般局で1,292局（84.4%）、自排局で199局（66.1%）であり、いずれも平成11年度に比べて達成率は減少した（図2-1）。一方、年平均値については、平成12年度は平成11年度に比べてわずかながら増加しているが、近年ほぼ横這いからゆるやかな減少傾向がみられる（図2-2）。

環境基準非達成率の分布を見ると、関東地域（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）を中心に、宮城県、福島県、新潟県、富山県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県に環境基準の非達成局が分布している（図2-3）。また、自動車NOx法の特定地域における環境基準達成状況は、平成11年度に比べて一般局で増加し、自排局では減少している（図2-4）。

関東地域における浮遊粒子状物質濃度の分布を見ると、都心部のみならず内陸部にも高濃度が測定された測定局が分布している（図2-5）。

図2-1 環境基準達成状況の推移

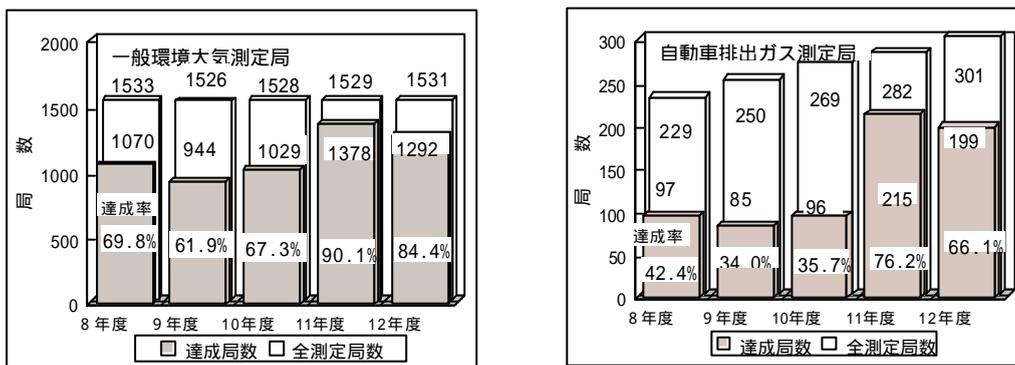


図2-2 浮遊粒子状物質濃度の年平均値の推移

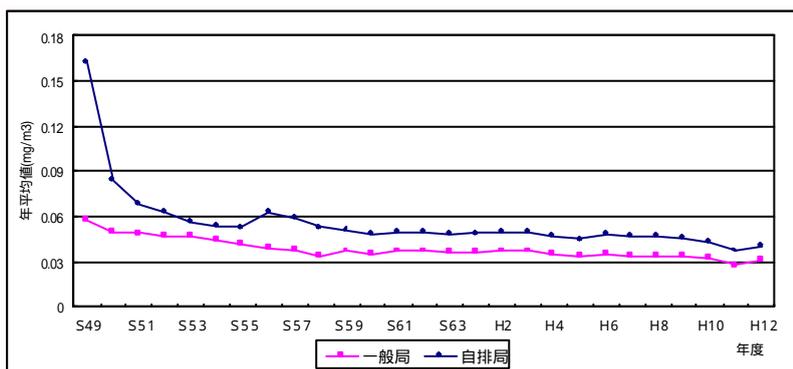
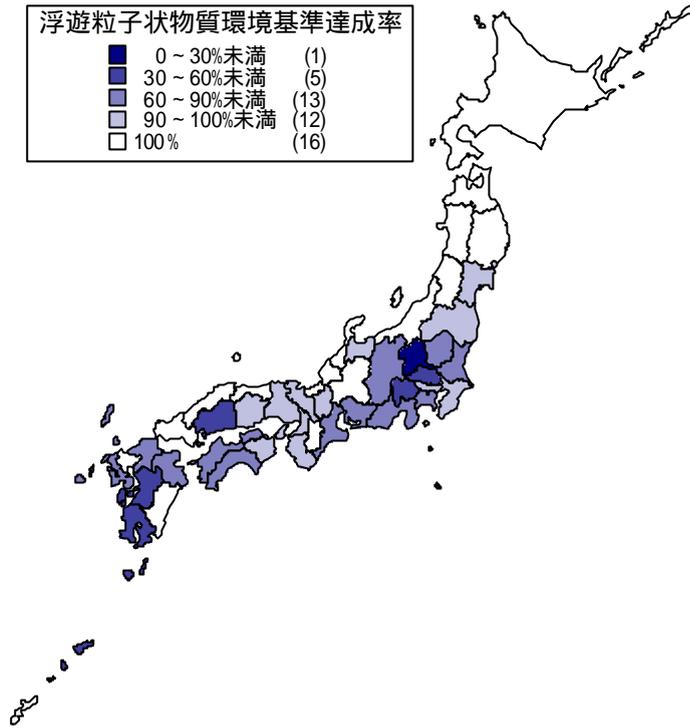


図 2 - 3 環境基準達成率の分布

(一般環境大気測定局)



(自動車排出ガス測定局)

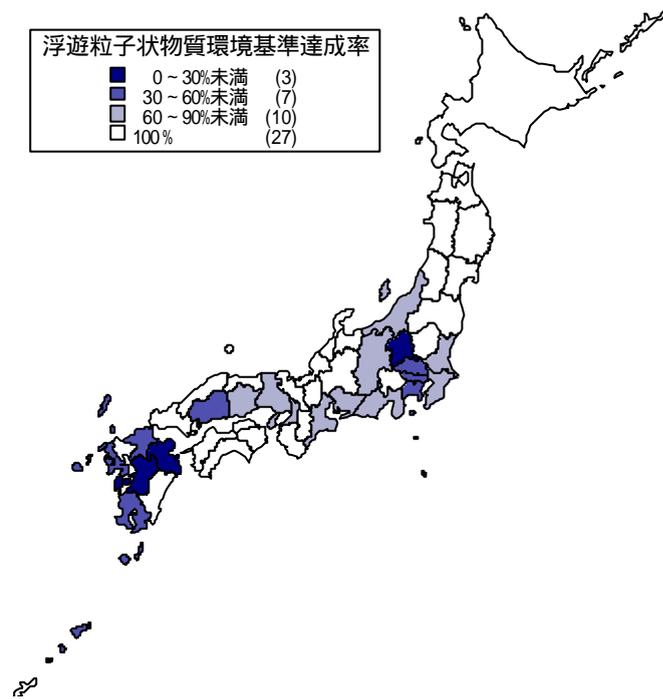
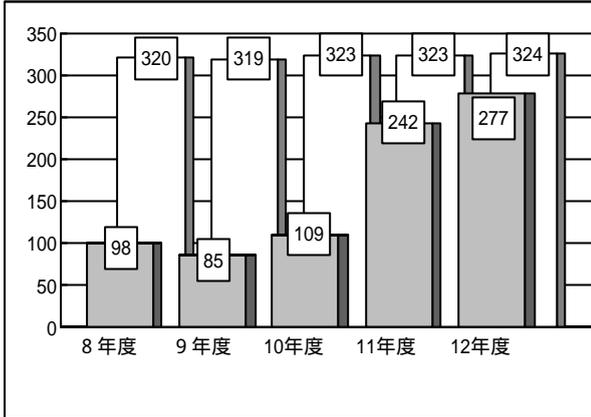


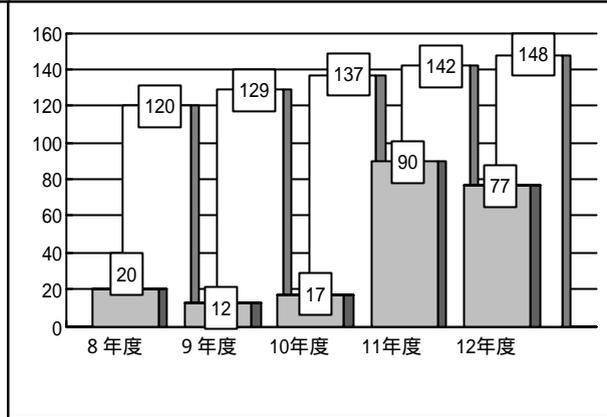
図2 - 4 自動車NOx法の特定地域における浮遊粒子状物質の環境基準の達成状況

特定地域全体

一般環境大気測定局



自動車排出ガス測定局

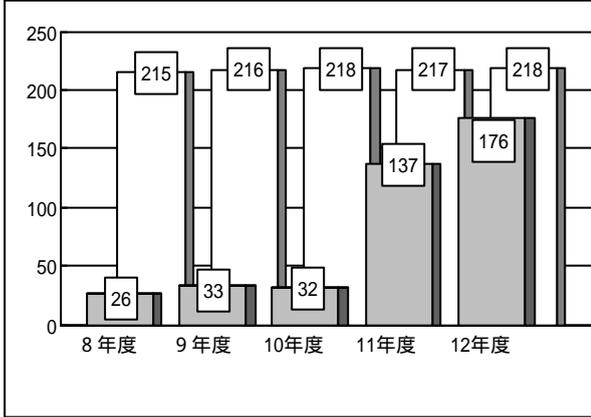


	H8	H9	H10	H11	H12
達成率 (%)	30.6	26.6	33.7	74.9	85.5

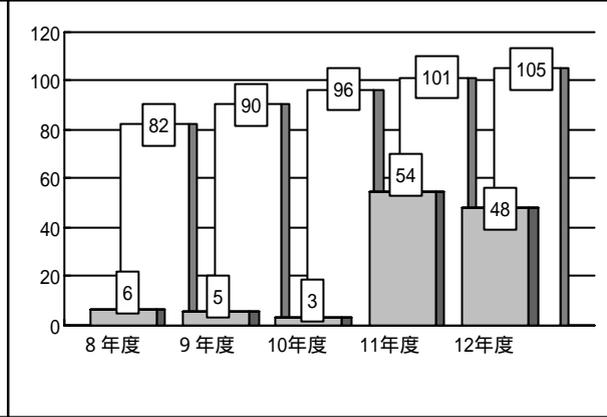
	H8	H9	H10	H11	H12
達成率 (%)	16.7	9.3	12.4	63.4	52.0

首都圏特定地域

一般環境大気測定局



自動車排出ガス測定局

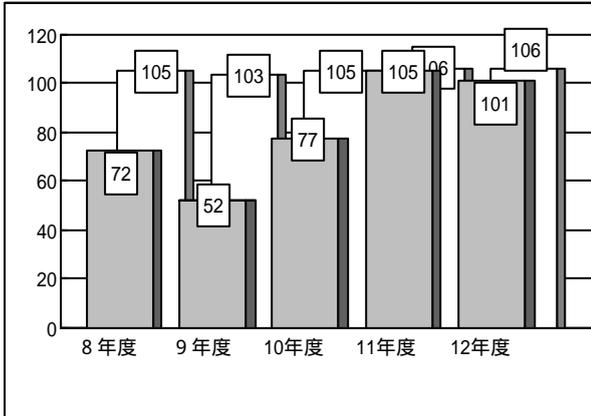


	H8	H9	H10	H11	H12
達成率 (%)	12.1	15.3	14.7	63.1	80.7

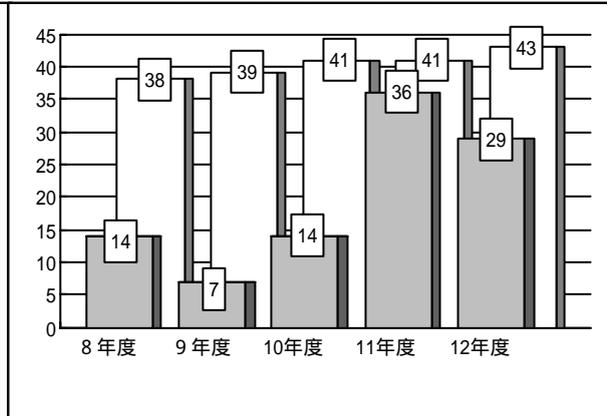
	H8	H9	H10	H11	H12
達成率 (%)	7.3	5.6	3.1	53.5	45.7

大阪・兵庫圏特定地域

一般環境大気測定局



自動車排出ガス測定局



	H8	H9	H10	H11	H12
達成率 (%)	68.6	50.5	73.3	99.1	95.3

	H8	H9	H10	H11	H12
達成率 (%)	36.8	17.9	34.1	87.8	67.4

■ 達成局数 □ 測定局数

* 縦軸は局数

図2 - 5 浮遊粒子状物質濃度の年平均値の分布（一般局）

関東地域

- : 年平均値が $0.05\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた測定局
- : 年平均値が $0.04 \sim 0.05\text{mg}/\text{m}^3$ の範囲にある測定局
- : 年平均値が $0.04\text{mg}/\text{m}^3$ 未満の測定局



関西地域

- : 年平均値が $0.05\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた測定局
- : 年平均値が $0.04 \sim 0.05\text{mg}/\text{m}^3$ の範囲にある測定局
- : 年平均値が $0.04\text{mg}/\text{m}^3$ 未満の測定局

